

Istanbul Weekly vol.5-no.31

イスタンブール ウィークリー

発行：在イスタンブール日本国総領事館 発行日：2016年9月23日（金）

— 今週のポイント —

- 政治**：南東部の地方自治体の長が、PKK 及びギュレン系への支援で解任。
エルドアン大統領、国連総会でギュレン系の脅威などアピール。
- 経済**：第2四半期の経済成長率、投資と外需の落ち込みにより減速。
トルコと日本、宇宙技術協力で合意。
- 治安**：米国大使館がガジアンテップ県のスターバックス等がテロ対象と注意喚起。
イスタンブールで ISIL 関係者 40 名が拘束される。
- 軍事**：エルドアン大統領：シリアへの一層の軍事展開を進める。
ロシア軍参謀総長、トルコを訪問。
- 社会**：サマータイムが継続、冬時間の適用は廃止へ。
9月1日に漁が解禁、今年は豊漁。

政治

【内政】

●南東部の地方自治体の長が、PKK 及びギュレン系への支援で解任

11日、内務省は、主としてHDPから選出された南東部の市長ら地方自治体の長28名について、PKK及びギュレン系に支援を行ったとの理由で解任し、代理の行政官を指名したと発表した。在トルコ米大使が同解任を民主主義に反すると批判したことに対し、チャヴシュオール外相は、テロ支援者への処分は当然の権利であるとして米国に対して強く反論した。(9月12日付M紙1面)

●世論調査結果：ギュレン支持者への取締りに90%強が賛成

世論調査機関ポールマーク社は、8月12日～18日に実施した世論調査結果を発表。クーデター未遂事件はギュレン系が行ったとする見方に88.2%が賛同する、11.9%が賛同しないと回答。また、政府が行っているギュレン関係者や同支持者に対する一連の拘束や解職等の措置について、91.9%が正当であると答え、正当であるとは思わないとの回答は、8.1%であった。(9月13日付M紙インターネット版)

●定例閣議：教員2万7千人がギュレン系との関係を理由に解職処分

19日、エルドゥラム首相の主宰下で定例閣議が開催され、同終了後の記者会見でジャンクリ副首相は、ギュレン系との関係を理由に、これまで教員27,715人を解職するとともに、教員9,464人を停職処分としたことを発表した。また同副首相は、約2万人の教員を新規採用する方針を明らかにした。(9月19日付M紙インターネット版)

●小規模の内閣改造の可能性が浮上

10月の通常国会開始後、数人の閣僚交代の可能性が取り沙汰されている。9月にアラ内務大臣が更迭されたのに対し、

エルドゥラム首相は、現在行われているギュレン系に対する捜査・取り締まりに関する各閣僚のパフォーマンス等を踏まえながら、10月から11月にかけて5-6人規模の内閣改造を検討している模様(9月19日付C紙4面)。

●ギュレン系に対する処分に関する不服申し立て機関の設立

20日、エルドゥラム首相は、一連のギュレン系に関する捜査や処分において、不当な処分を蒙ったと主張する者のために不服申し立て機関を設置したと発表した。アンカラの首相府情報センターには、設立初日から解職処分等が科された教員を中心に約1500人が長い列を作った。(9月21日付H紙17面)

【外交】

●エルドアン大統領、国連総会でギュレン系の脅威などアピール

20日、エルドアン大統領は訪米し、ニューヨークで開催された国連総会で一般討論演説を行った。同大統領は、クーデター未遂事件について説明しつつ、「テロ組織『FETO』は、170カ国でそれら全ての国の安全保障上の脅威だ」と強調。また、シリア難民問題に関し、トルコの支援が合計250億ドルに達する一方で、国連やEUなど国際社会のトルコに対する支援は十分でないとして批判した。(9月20日付M紙1面他)

●エルドアン大統領、バイデン米副大統領と会談

21日、訪米中のエルドアン大統領は、滞在先のホテルでバイデン米副大統領と会談した。両者は、トルコ・米国間の戦略的重要性を再確認するとともに、対ISIL及びシリア情勢において一層の協力を進めることで合意した。エルドアン大統領は、クーデター未遂事件を首謀したフェトッラー・ギュレン師の引き渡しを改めて要求したのに対し、

バイデン副大統領は、専門家レベルでの捜査要請への協力を約束した。(9月21日付H紙インターネット版)

経済

【マクロ経済】

●第2四半期の経済成長率、投資と外需の落ち込みにより減速

トルコの第2四半期の経済成長率は、投資や外需が落ち込む中で3.1%となった。シムシェッキ副首相は、クーデター未遂事件が影響しているものの、経済活動の減速は長くは続かないとし、健全でより高い成長率を維持するため、貯蓄と投資を増やすことが重要であると述べた。第1四半期の成長率は3.9%であった。(9月9日付HDN紙インターネット版)

●失業率、10.2%に上昇

6月期の失業率は前年同月比0.6ポイント上昇し10.2%。15-24歳の若年層の失業率は同1.7ポイント上昇し19.4%となった。(9月20日付HDN紙1、10面)

●8月の財政収支、12億ドルの黒字

8月の財政収支は12億ドルの黒字。1-8月期では16億4000ドルの黒字となった。(9月20日付HDN紙1、10面)

【経済政策】

●トルコと日本、宇宙技術協力で合意

8日、運輸海事通信省は、日本の国立研究開発機構(JAXA)と衛星及び宇宙技術協力に関する協力で合意した。合意に先立ち、鶴保内閣府特命担当大臣はアルスラン運輸海事通信相と会談し、宇宙分野での両国の一層の協力推進で一致した。(9月9日付DAILY SABAH紙インターネット版)

●トルコ英国 FTA に関する共同研究の開始

9日、ゼイベキジ経済大臣は、訪問先のロンドンでフォックス英国国際貿易大臣と面会、英国とのFTA締結に向けた取り組みに合意したと述べた。同大臣によると、今後両国はFTAの技術的な共同研究を開始する予定。(9月10日付H紙10面)

●政府、開発銀行の改革へ

シムシェッキ副首相は、中進国の罟を回避し、国内の開発が遅れている地域への融資を増やすために、開発銀行の改革を行い、技術的・戦略的な投資案件に対して長期かつ低コストの融資を行う予定だと述べた。また、同銀行の資本を5370万ドルから3億3600万ドルに増資する予定。(9月20日付HDN紙1、10面)

【観光関連】

●犠牲祭(パイラム)期間中のホテル稼働率、100%

犠牲祭期間中、トルコ国内旅行が活発化し、約70万人がエーゲ海及び地中海リゾートを訪れ、ホテルの稼働率はほぼ100%となった。(9月20日付HDN紙11面)

【企業等の動き】

●ターキッシュ・エアラインズの乗客数3.8%増加

1-8月のターキッシュ・エアラインズ(トルコ航空)の乗客数は前年同期比3.8%増加し4270万人。国内線で4.8%、国際線で3%の増加となった。国際線の乗り継ぎ客数は17.7%増加した。搭乗率は同4.4%減少し74.4%。(9月11日付HDN紙インターネット版)

●トルコ建設業者の外国でのプロジェクト、急減

上半期にトルコの建設業者が外国で実施したプロジェクト数は45件、総額28億ドル。2014年の260億ドル、2015

年の220億ドルと比較すると急減している。トルコの主要市場における経済的な落ち込み、2国間の政治問題等が影響した。(9月21日付HDN紙11面)

【その他】

●ダーダルネス(チャナッカレ)海峡大橋の入札時期、9月末に公示予定

アルスラン運輸海事通信大臣は、チャナッカレのダーダルネス海峡大橋建設の入札時期については9月末に公示予定であると述べた。同大橋建設入札についてはBOT方式となり、来年1月に開札、3月18日に着工予定。(9月14日付DAILY SABAH紙インターネット版)

●ムーディーズ:クーデター未遂事件によるショックの大部分は消えた

21日、格付会社ムーディーズは、トルコのクーデター未遂事件による経済へのショックの大部分は消え、来月内にはトルコの格付け評価見直しを終える見込みであると述べた。同社は、8月にトルコの格付け判断を延期していた。(9月22日付HDN紙10面)

【クーデター未遂事件関連】

●ペトキム社へのオペレーションで、13名を拘束

22日、石油大手ペトキム社に対し、新たにFETO関連のオペレーションが行われ、少なくとも13名が拘束された。(9月21日付HDN紙10面)

治安

●犠牲祭期間中の交通事故死者は103名

19日、内務省は、犠牲祭期間中の9日間に全国で3120件以上の交通事故が発生し、7175人が負傷し、103名が死亡したと発表。(9月20日付HT紙12面)

●イスラエル大使館に刃物を持った男

21日、アンカラのイスラエル大使館に刃物を持った男が徒歩で近づいたため、大使館の警備にあっていた警察官が警告の上で同人の脚を銃撃し、同人を拘束した。同人は、「中東で流れる血を防ぐため」などと述べているが、当局は「犯人は精神疾患があり、テロ組織とは何ら関係が無い」と発表した。(9月22日付HT紙14面)



(写真は9月22日付ファイナンス7コムから)

【PKK関連】

●ハッカリ県で兵士3名死亡

18日、ハッカリ県でPKK戦闘員と治安当局との間で衝突が発生し、兵士3名が死亡し、4名が負傷した。PKK戦闘員15名も無力化された。(9月19日付HT紙14面)

【FETO関係】

●ギュレン派メンバーが米国議会公聴会で発言

14日、米国議会の公聴会に、FETOメンバーとされる、元トルコ警察官であるアフメット・サイト・ヤイラが出席した。ヤイラ氏は、ギュレン師がクーデターを計画したことを否定し、むしろAKPやエルドアン大統領がクーデターの背後にいると述べた。(9月16日付HDN紙3面)

●クーデター未遂事件直後にギリシャに逃亡した兵士3名の亡命申請が却下

21日、ギリシャ政府は、クーデター未遂事件直後にギリシャに逃走し、ギリシャへの亡命申請を行っていた軍人8名のうち3名について、亡命申請を却下することを決定した。(9月22日付HT紙18面)

【ISIL関係】

●イスタンブールでISIL関係者40名が拘束

17日、イスタンブール市内ファーティヒ区において、イスタンブール県警はISILに関係する23カ所に対して捜索オペレーションを実施し、ISIL関係者40名を拘束した。また、その際ISILに関する文書やデジタルファイル等を押収した。拘束されたISIL関係者らは、アゼルバイジャン、イラン、イラク、アフガニスタン等の国籍者で、シリアでの戦闘歴がある者も含まれている。(9月19日付けHT紙14面)

●ガジアンテップ県のアレヴィー派関連施設へのテロ計画でISIL関係者拘束

17日、ガジアンテップ県警は、アレヴィー派の礼拝施設である「ジェムエヴィ」の写真を持っていたISIL関係者を取り調べた結果、ISILが同県のデュズテペ郡に所在するジェムエヴィへのテロを計画していたことが判明した、と発表した。テロ攻撃に備え、同ジェムエヴィ周辺には装甲車と特殊部隊が派遣され、安全のために付近は一時封鎖された。(9月19日付HD紙インターネット版)

●シャンルウルフ県でISIL自爆テロリスト2名が拘束

19日、シャンルウルフ県で自爆テロの準備をしていたとされるISILテロリスト2名が拘束された。捜査の結果、TNT火薬24キロと爆弾製造に必要な多数の物品が押収された。(9月20日付HT紙12面)

●米国大使館がガジアンテップ県のスターボックス等がテロ対象と注意喚起

21日、アンカラの米国大使館は、「テロ組織」のセルへの調査の結果として、ガジアンテップ県内で、ショッピングセンターやカフェ「スターボックス」、レストラン「ビックシェフ」等の飲食店および、欧米系の顧客へのケータリング業者に対してのテロを計画している可能性が浮上したため可能な限りこれら避けるよう注意喚起を行った。(9月21日付HT紙インターネット版)

軍事

●トルコと米国、ラッカについて協議

7日、チャヴシュオール外相は、トルコと米国がISILの拠点であるシリアのラッカとイラクのモースルへの対応について米国と協議を行ったと述べた。同外相は、もしISILの掃討作戦を実施するのであれば、トルコと米国もラッカとイラク双方の掃討作戦に参加することが重要であると述べた。(9月8日付HDN紙9面)

●エルドアン大統領、北シリアにおけるトルコのプレゼンスをアピール

8日、エルドアン大統領は、「トルコ軍のシリアへの迅速で効果的な攻撃は、世界のこの地域に対する見方を変えた。トルコの参加や同意なしに、この地域に誰もいかなるシナリオも立てられない。」「トルコは、PYDによるこの地域の“テロの回廊”を“平和の回廊”に変える。」等述べた。(9月9日付HDN紙9面)

●ロシア軍参謀総長、トルコを訪問

8日、ワレリー・ゲラシモフ・ロシア軍参謀総長がアンカラを訪問し、トルコ軍のアカル参謀総長と会談した。昨年

の露軍機撃墜事件以来初の両国軍トップ間の会談となり、シリアでのトルコ軍の軍事展開を含む幅広い議題について話し合われた模様であるが、会談後の発表はなされなかった。(9月16日付HDN紙1面)



(写真は9月16日付HDN紙インターネット版から)

●トルコ軍が、ユーフラテスの盾作戦について声明

18日、トルコ軍は、北シリアでの軍事オペレーション“ユーフラテスの盾作戦”について、「トルコ軍兵士7名が死亡し、9名が負傷した。」「トルコ軍が支援するシリア反政府勢力(自由シリア軍:FSA)は、アル・ライの南のISIL支配領域に攻め込むことを躊躇しない。同地域の7つの村を既に解放したが、昨日、自由シリア軍はさらに2つの村をISILから開放した。」との声明を発売した。トルコ軍による作戦で、260の砲弾と59の多連装ロケットによりISILの67の標的が攻撃され、ISIL戦闘員5名が無力化された。(9月19日付M紙インターネット版)

●トルコ軍の大都市中心部からの移動を完了と発表

トルコ政府は、クーデターの再発を防止するために進めていたイスタンブールやアンカラ中心部からの軍施設の再配置を終了した、と発表した。ウシュク国防大臣は、「イスタンブールとアンカラからの軍施設の脅威要素の除去プロセスは終了し、今後は、装甲車等は二度と都市中心部を占拠できない。」と語った。(9月19日付HD紙インターネット版)

●エルドアン大統領：シリアへの一層の軍事展開を進める

19日、エルドアン大統領は、ニューヨークで開かれる国連総会に出席する前にインタビューに答え、「我々のシリアでの軍事作戦の後、難民問題には改善が見られている。ジャラーブルスを解放し、アル・ライも解放した。我々は、アル・バブまで進む。この地域を、長さ90-95キロ、幅40-45キロの安全地帯にするべきである。」等と述べた。(9月20日付HT紙14面)

●政府、シリア・イラクでの活動延長動議を提出

20日、政府は、トルコ軍の1年間のシリア、イラクへの派兵についての国会の承諾を更に1年間延長することを求める包括的動議を提出した。これは、憲法92条に基づき、国会がトルコ軍にイラク・シリアでの国境を越えた対PKK作戦を実施する権限を付与すること、及び対ISIL掃討作戦のためにインジルリッキ基地等の軍事基地を外国軍に使用させたり、領土を通過させることを認めるものである。(9月22日付HT紙16面)

●エルドアン大統領「ラッカへの進軍は有志連合軍と共に」

20日、エルドアン大統領は、国連総会に参加したニューヨークにおいて「トルコは、ISILを掃討するためのラッカへの進軍を実施するが、単独ではなく、米国主導の有志連合軍とともに実施する。」と述べた。(9月21日付HDN紙1面)



(写真は9月21日付HDN紙インターネット版から)

●PYD代表「クルド国家建設は求めない」

21日、北シリアのクルド勢力PYDのサーリヒ・ムスリム代表は、インタビューに答え「PYDは、北シリアにおいてクルド国家の建設を求めない。我々が求めるのは、真に民主的なシリアであり、そこでクルド人が正当な民主的な権利を得ることである。」と述べ、トルコによる「PYDはクルド国家建設を企んでいる」との批判を否定した。(9月22日付HDN紙9面)



(写真は9月22日付HDN紙インターネット版から)

●キリス県でISILによるロケット攻撃

22日、キリス県において、シリア領内ISIL支配地域からのロケット弾攻撃により2-3名が負傷した。ロケット弾は、キリス県中心部の市場に着弾し、周辺の窓ガラスやシャッターを揺らした。キリス県では、先月までのISILからのロケット弾攻撃で22名が死亡しており、犠牲者の半分以上はシリア人であった。(9月22日付AFPニュース)

生活

●サマータイムが継続、冬時間の適用は廃止へ

政府は、3月から7カ月間適用されていた夏時間を今後も継続することを閣議で決定した。夏時間は、2016年3月27日に適用が始まったが、同決定により10月30日午前4時に予定されていた冬時間の適用は今後廃止される。夏時間の継続により、冬期の日没時間が遅くなり、勤務時間内の電気消費量を節約できることになる。今後は冬時間を適用するヨーロッパとの時差が開き、イギリスとは3時間、ドイツとは2時間の時差が生じる。(9月9日付H紙1面他)

●イスタンブールで過去3カ月間に3651件の交通事故が発生

ラジオ交通社の統計によると、イスタンブールで6-8月にかけて発生した交通事故件数は合計3651件。この内、437件で負傷者が出ており、6件が死亡事故。月別では、6月に1505件、7月に955件、8月に1191件の交通事故が発生した。(9月9日付HT紙21面他)

●イスタンブールで山火事が相次ぐ

今年4月以降、イスタンブールで22件の山火事が発生している。特に、最近の18日間でサルエル、ケメルブルガズ、ガーズィオスマンパシャ、スルタンベイリ、カンルジャ、チャタルジャ及びマルテペなど9地域で発生している。18日に発生したケメルブルガズの山火事では3時間後に、同日発生したガーズィオスマンパシャの山火事は1.5時間後に火が消し止められた。(9月19日付HT紙17面他)

●9月1日より漁が解禁、今年は豊漁

9月1日より漁が解禁され、豊漁が続いている。魚の価格は豊漁を受けて昨年に比べ安くなっている。鯛は1キロあたり7-12リラ、鰹は一尾あたり10-15リラで取引されている。(9月19日付HT紙10面他)

●学校が新年度を迎えるも深刻な教員不足に直面

3カ月間の夏休みを経て、9月19日から授業が再開されたが、深刻な教員不足に直面している。教員の労働組合によると、今年4月時点で6万6千人の教師が不足していたが、クーデター未遂事件後の解任や定年退職等でその数は10万人に達し、特にマルディンやヴァンなどの東部で教員不

足が深刻化している。(9月19日付HT紙16面他)

●CHPが第三大橋周辺の環境を保護する法案を提出

第三大橋周辺の自然環境を保護しようと、最大野党であるCHPが同大橋の周辺地域を第一保護区に指定する法案を国会に提出した。同法案では、第三大橋の建設に伴い、周辺の森林や動物などの生態系に被害が出ていると指摘し、最後に残された自然地区の保護を求めている。(9月19日付HDN紙2面他)



(写真は9月19日付HDN紙2面インターネット版から)

●ボスポラス海峡に、グリーンピースの帆船が入港

20日、太陽エネルギーの啓蒙キャンペーンとして、ボスポラス海峡国際環境NGOグリーンピースの帆船「Rainbow Warrior」が入域し、第一大橋にレーザープロジェクターで「太陽の下で帆を開こう」というスローガンを投影し、トルコ国内に百万個のソーラーパネルを設置する事を訴えた。(9月21日付H紙34面他)



(写真は9月21日付HABERLER.COMインターネット版から)

●大雨の被害

20日夜にイスタンブールで発生した短時間の集中豪雨により、多くの地区で床上浸水、道路の冠水、交通渋滞等の被害が発生。シシリ区のフルヤ地区にあるアパートでは、9世帯が浸水被害に遭った。現場に駆け付けた消防隊は水の汲み出し作業に当たったが、家財道具は使い物にならなくなった。住人は同地区で学校建設が始まって以来、雨の度に同様の被害が発生していると訴えているが、対策は講じられていない。(9月22日付HT紙21面)

●世界最大のコモン・スティングレイ（アカエイの仲間）が発見される

21日、世界最大のコモン・スティングレイ（アカエイの仲間）がチェシメ沖で発見された。重さ450キロ、胸鰭の横幅2.21メートルのコモン・スティングレイは、出産中に網にかかり、トルコ人研究者の救助によって船上で8尾の稚魚を出産した。計測後、アカエイ親子は海に放流された。(9月22日付Daily Sabahインターネット版)



(写真は9月22日付Daily Sabahインターネット版から)

注：本文中の略語の正式名称は以下の通りです。

略語	正式名称	略語	正式名称
AFAD	首相府緊急災害事態対応総局	ÖSB	PKKの防衛隊
AKP	公正発展党（現与党）	OIB	首相府民営化管理庁
BDDK	銀行監督庁	PKK	クルディスタン労働党
BDP	平和民主主義党（クルド政党）	PYD	シリア民主主義連合党
BOT	建設・運営・譲渡方式	RP	福祉党
CHP	共和人民党（最大野党）	RTÜK	ラジオ・テレビ高等機構
DEP	民主党	SNC	シリア国民評議会
DHKP/C	革命人民解放党/戦線	SPK	証券取引監査院
DHMI	国家航空局	SSM	防衛産業庁
DISK	先進労働組合連合	TBB	トルコ弁護士協会／トルコ銀行協会
DTK	民主主義社会評議会	TCDD	トルコ国鉄
DTP	民主社会党	TDHB	トルコ歯科医師会
DYP	正道党	TESK	トルコ商工業連合
EDAM	経済外交政策センター	THY	ターキッシュ・エアラインズ
EPDK	エネルギー市場監督庁	TİKKO	トルコ労働者・農民解放軍
HDP	人民民主党（クルド政党）	TMMOB	トルコ・エンジニア・建築会議連盟
HSYK	裁判官・検事高等委員会	TOKİ	トルコ集合住宅開発局
İDO	イスタンブール海上フェリー会社	TOMA	放水装甲車
İHH	人権・自由・人道支援団体	TPAO	トルコ石油公団
İKSV	イスタンブール文化芸術財団	TTB	トルコ医師会
İSO	イスタンブール産業会議所	TÜBİTAK	トルコ科学技術研究機構
İşİD	イラク・レバントのイスラム国（アルカイダ系）	TÜİK	トルコ統計庁
İTO	イスタンブール商工会議所	TÜPRAS	トルコ石油精製会社
KCK	クルディスタン共同体同盟（PKK系）	TÜSİAD	トルコ産業・実業家協会
KESK	公務員労働組合連合	TÜYİD	トルコ投資家関係協会
KRG	北イラク政府	YÖK	トルコ高等教育評議会
MHP	民族主義者行動党（野党）	YSK	選挙高等委員会
MIT	国家諜報機関		

注：本文中のニュースソースの略称は以下の通りです。

トルコ語新聞		英字新聞		通信社	
Akşam	A	Economist	EC	Anadolu News Agency	AA
Cumhuriyet	C	International New York Times	INYT	Agence France Presse	AFP
Haberturk	HT	Hürriyet Daily News	HDN	Cihan News Agency	CA
Hürriyet	H	Today's Zaman	TZ	Doğan News Agency	DA
Milliyet	M			Ihlas News Agency	IA
Posta	P			Interpress	IP
Radikal	R				
Sabah	S				
Taraf	T				
Vatan	V				
Zaman	Z				

在イスタンブール日本国総領事館

電話：0212-317-4600、FAX：0212-317-4604、E-Mail：istanbulweekly@it.mofa.go.jp

WEB：http://www.istanbul.tr.emb-japan.go.jp/index_j.html

Facebook：http://www.facebook.com/Japonya.Istanbul.Baskonsoloslugu

- トルコに90日以上滞在される方は総領事館に在留届を提出願います。
- 新たに配信希望される方、あるいは今後の配信を希望されない方は、以下のメールアドレスにご連絡ください。
istanbulweekly@it.mofa.go.jp

【被害】

イスタンブール邦人被害統計								
2016.1.1～2016.9.22 ※総領事館に訴出があったものを集計								
年	窃盗		詐欺		ぼったくりバー		高額絨毯購入(相談)	
	今週	通算	今週	通算	今週	通算	今週	通算
2015年		8件		6件		20件		9件
2016年	0件	5件	0件	2件	1件	17件	0件	2件

- 今週は、ぼったくりバーの被害届が1件ありました。

★当館 HP 更新のお知らせ★

- 治安速報：トルコの対 ISIL 空爆への参加 (08/24)
- 治安速報：ガジアンテップ県の結婚式で自爆テロ (08/21)
- 【危険情報】トルコ（アンカラ中心部及びエセンボア空港に「レベル1：十分注意してください。」の危険情報を新規発出）(08/18)